

落札者決定基準（案）における評価方法について

落札者決定基準（案）において、技術要素、価格要素の評価を行うにあたっては、先進他事例等を参考にしつつも、本事業における特性を勘案した評価とする必要がある。

本資料は、定量化審査に関する検討項目の補足資料である。下記記載の事項は事務局案であり、最終的な決定は選定委員会の審議を経て行うものとする。

■定量化審査に関する検討項目

No	検討項目	選択肢等	事務局案	事務局提案理由
1	総合評価点の算定方法	①加算式 ②除算式	①加算式	評価項目の配点にメリハリをつけることにより本事業の重点目標を明確にした選定ができるため。先進事例のほとんどが加算式である。
2	(1)価格点の割合	技術点：価格点 ① 6：4 ② 5：5 ③ その他	① 6：4	技術評価を重視しつつ、価格評価において競争原理を働かせることにより財政負担の軽減を図ることが期待できるため。先進事例での採用事例が最も多い。
	(2)価格点の内訳	建設費：運営費(6：4の場合) ① 1.5：2.5 ② 2：2 ③ その他	① 1.5：2.5	建設費は国からの交付金や震災特別復興交付税の財政措置が見込まれるが、運営費はすべて一般財源の負担となる。運営費の配分を高く設定し、運営費の縮減を図るため。
3	技術点の算定方法			
	(1)技術提案に関する評価方法			
	1)各評価項目の評価方法	①数値方式（定量評価） ②判定方式（定性評価） ③順位方式（定性評価）	②判定方式を基本	各提案の内容に応じた得点結果となり、評価結果が明確化できるため。先進事例のほとんどが判定方式である。
	2)判定方式の評価の階層数	①5段階 ②4段階 ③3段階	①5段階	3段階、4段階よりも評価がしやすいと考えられるため。先進事例での採用事例が最も多い。
	3)5段階評価の判断基準	①5段階の場合の案1（要求水準程度をE評価） ②5段階の場合の案2（標準をD評価）	①案1	技術提案の評価を重視した評価とするため。
(2)技術点の算定方法（合計得点）	①素点計上方式 ②一位満点方式	①素点計上方式	技術提案の評価をそのまま得点化でき、シンプルで分かりやすいため。	

No	検討項目	選択肢等	事務局案	事務局提案理由
4	価格点の算定式	①1式： $\text{配点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$ ②2式： $\text{配点} \times \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{最低入札価格}}$ ③その他の式	①1式	技術提案内容を重視しつつ、価格評価において、競争原理を働かせることを念頭に、先進事例での採用事例が最も多く、過度に価格評価で点数差が付かない式とするため。
5	選定委員会の審査方法	①合議採点方式 ②個別採点方式 ③その他	②個別採点方式	各委員の専門性を尊重した評価が可能であるため。